

「上部尿路上皮癌の浸潤先進部における低分化胞巣の再発・予後予測因子としての有用性の検討」に関する研究

1. 研究の対象

1994年1月～2021年12月に当院で腎尿管全摘除術を受けられた方

2. 研究目的・方法・期間

尿路上皮癌は比較的高頻度に組織の深くまで進展し、静脈やリンパ管の浸潤を介して容易に遠隔転移をきたします。そのような進行癌を患った方の治療は、従来の方法では極めて困難であり、そのような進行癌の新規治療の確立は急務であるとされています。本研究では上部尿路上皮癌（腎盂癌及び尿管癌）に焦点を当て、癌の浸潤先進部における低分化胞巣（腫瘍浸潤先進部に認められる5個以上の癌細胞で構成される大型の癌胞巣）の再発や予後に与える影響について検討します。低分化胞巣は大腸癌においては重要性が確立された病理学的因子ですが、上部尿路上皮癌での検討は初めての試みです。

研究期間は2025年9月30日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況 等

試料：過去の通常診療で採取され診断に用いられた後の腫瘍組織の遺残ホルマリン固定パラフィン包埋組織等

4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

研究責任者 泌尿器科 濱本孔越

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

資料 3

連絡先：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2
防衛医科大学校 泌尿器科学講座
研究責任者 濱本 孔越
電話 04-2995-1511(内線 2351)
FAX 04-2996-5210